

7月植物観察会

7月6日(土) 9時~12時

自然保護グループ 山本はるえ

参加者は9名。梅雨明けはまだだが、37℃越えの気温が予報されている。熱中症にならぬよう、日陰のないあぜ道コースは早めに通り返け、城山コースでゆっくり観察しようと出発。

あぜ道コースの藪では、艶やかに咲くボタンクサギが目立つ。



艶やかでアジサイのように手毬状のボタンクサギ

また、荒れ地で成長の早いアカメガシワの花が満開。この木には雄木と雌木があることを学んだ。

城山コースの東入口付近では、3年前に初めて観察したシャクジョウソウを今年も確認できた。



ギンリョウソウによく似た姿のシャクジョウソウ

その他、ハグロソウ、ハエドクソウ、ミズヒキなどの花を観察。休憩所ですばらく休憩、風が心地よい。山野草の話題が尽きず、なかなか腰が上がらなかった。

高岡観光

7月17日(水)

登山グループ 水野可律子

参加者23名。雨の予報に一抹の不安を覚えながら、帷子地区センターを出発し、白木峰(1596m)に向かう。しかし、出発早々に雨の洗礼を受けた。城端(ジョウハ)SAで休憩した時点で「白



住職の説明に聞き入る一行

木峰登山」から「高岡観光」に変更。

まず向かったのが、高岡市にある国宝の「瑞龍寺(ズリョウジ)」。住職さんにユーモアを交えながら、寺の由来を深い部分まで切り込んでお話していただけた。次に訪れたのが日本三大大仏の1つである「高岡大仏」。次に射水(イヅミ)市の「新湊(シミナト)きつときと市場」に移動し、昼食と買い物。午後には新湊大橋の歩行者通路「あいの風プロムナード」と「海王丸パーク」を散策し、帰路に就いた。白木峰登山は果たせなかったが、楽しく有意義な一日だった。

御岳山(ミタケ)のレンゲショウマ

8月13日(火)・14日(水)

林 千津子

奥多摩の御岳山のレンゲショウマに会いに行ってきた。山の斜面に一面に咲くレンゲショウマは圧巻。以前からの念願が叶った。



森の妖精、レンゲショウマ

14日は大岳山(オオタケサン)に登山。大岳山は曇りで頂上からの富士山は望めなかったが、ロックガーデンの苔むした沢、頂上直下の岩場等、楽しい山だった。

下山後、食堂でかき氷、天ぷらそばを食す。食堂の窓からもキレンゲショウマが見られた。下山後、雷雨になったが盛り沢山の2日間だった。

尾高山(オカヤマ)山行

8月21日(水)

登山グループ 大下敬子

参加者は20名。蒸し暑い岐阜を後にしたバスは、つづら折れの山道を天空のドライブ。一気に標高1833mのしらびそ峠に到着。バスを下りると、空気がひんやりとして、気持ち良い。

登山口からいきなり急登、登山道は歩き易いが、木の根の張り出しが多く、滑らない様に気を配る。辺りはシラビソ、トウヒ、コメツガ等の樹林帯で、その樹皮や枝に「霧藻(クリモ)」とも言われるサルオガセが、糸状に垂れ下がっているのが多く見られた。足元には、笹やシダ、キノコ類、数種類の苔が共存している。目にも鮮やかな緑の中を歩いて行くと、霧が立ち込め幻想的な深い森へと入り込んで行った。



目にも鮮やかな緑の中の登山

樹林帯は涼しくて快適、11時に頂上に。周りは木々に囲まれて視界は無い。少し下りた所のビューポイントから南アルプスの絶景が見えるはずだが、あいにくまっしろ白! 霧で何も見えず。此处でお昼を摂った後、同じ道を下山し、しらびそ峠を通り越して「しらびそ高原天の川」まで歩いた。

帰りに「日本のチロル」と称される「下栗の里(シタクリノサト)」を眼下にした後、差し入れの甘くて美味しいスイカを皆で食した。今回も明るく、元気で、楽しい山行となった。



天空の里/下栗の里を眺める一行

百名山完登

8月23日(金)

佐藤正行



光岳(チカダケ)で念願の百名山制覇

82歳5ヶ月、百名山完登。遂にやりました!

私と山との出会いは1965年、いきなり奥穂高岳のジャンダルムから始まった。以降、多くの仲間達と様々な山に登ってきた。

ある日、登った百名山を数えたら残り35座。これなら全山登れるかもしれないと思った。それからは毎年だ。

2017年、北海道6座を踏破。2018年、青森・岩手・新潟・山形・宮城県の11座。2019年、福島・栃木・新潟・長野県の7座。2020年、群馬・新潟・長野県の8座。2021年、九州・四国の8座。2022年、北アルプス裏銀座7座・立山・剣岳。2023年には、南アルプス北岳・間ノ岳・鳳凰山・塩見岳の山頂に立った。

そして今年、北海道幌尻岳へ。その後、南アルプスを縦走し聖岳、8月23日に光岳登頂で100座完登。

北海道の幌尻岳登山ではバスに1時間、林道を10km歩き、川を8km遡行、腹まで浸かることもあり13回渡渉して、ようやく幌尻山荘に到着。



聖岳山頂、左はガイドさん

光岳は、最後の標高差2,130mがきつかった。聖平小屋から南岳を通り上河内岳から茶臼小屋までのアップダウンと距離の長さが大変だ。茶臼小屋からも易老岳から三吉ガレ、三吉平までの急登が続く。光岳小屋から雨の中を頂上に。ついに百名山が終わったと身体から力が抜けた。小屋では皆さんが百名山完登を祝ってくれた。

カラスウリ観賞会

8月7日(水)

藤原純子

盛夏の8月、日が沈むころから少しずつ少しずつ花びらを広げる。20時ころにレースの花びら全開になる。やすらぎの森入口にある、友だちの庭でカラスウリの観賞会を楽しんだ。



昼間、蕾の状態のカラスウリ



夜間にレースの花びらを広げる

9月植物観察会

9月7日(土)9時~12時

自然保護グループ 山口和江

参加者13名。残暑厳しくあぜ道コースは足早に通り返け、可児川沿いの城山コースに逃げ込もうという作戦。

さっそくワルナスビの白い花が出現してくれた。オオニシキソウやコニシキソウという、身近な雑草の名を覚え

た。あぜ道コースではアキノノゲシが咲き始め、メリケンムグラの白い小花が群生している。とうとう病院手前では、ボタンクサギがまだきれいに咲いている。7月から次々と交代で咲いていたのだろう。センダンの木の実もなっていた。城山コースに入っすぐに、シャクジョウソウの花がらを確認した。フジカンソウも背が高く目立っている。ヤブミョウガがすごく増えていると聞いて、ここの環境に合っているのだなあと納得。中程に位置する休憩所は涼しいが、蚊が多い。次回は虫除けスプレーを忘れない様にしよう。そうしたら、益々腰が上がらないかも? この場所での山野草談議は楽しい!

最後に木曽川コースに向かう。ツチアケビを観察したかったが見つけれなかった。出現場所が予測不能なので、来年は何かで会いたいと語らいつつ、解散した。



長い花茎にピンクの花がつくフジカンソウ



白い花と藍色の実が混在するヤブミョウガ

これからの活動予定一覧

【環境保全 G 高島 勝】

- 保全活動 真禅寺 P / 9時集合
・10月24日(木)・11月28日(木)

【登山 G】

- 黒部溪谷&中山(1255m) 富山県
・10月16日(水)~17(木)
帷子地区センター P / 6時集合
- 妙法ヶ岳(667m) 揖斐川町
・11月20日(水)
帷子地区センター P / 6時集合

【パトロール G 中村 睦子】

- パトロール 真禅寺 P / 9時集合
・10月9日(水)・11月13日(水)

【自然保護 G 水野可律子】

- 植物観察会 カタクリ P / 9時集合
・10月5日(土)・11月2日(土)

【地域支援 G 柿元章吾】

- 土田小学校交流会 / 体育館 9時半~12時
・10月25日(金)

- 土田小学校鳩吹山登山支援 / 大脇公民館 9時
・11月22日(金) 予備日 26日(火)

【事務局】

- 連絡会 土田地区センター / 9時半集合
・10月3日(木)
- 連絡会 & 懇親会
下米田さくらの森 / 10時集合
(懇親会のみ場合は11時半集合)
・11月7日(木) 米田白山登山後、
連絡会~懇親会
- 会報発送 福祉センター / 9時半集合
・11月26日(火)
- 退会者 鬼木博文
- 入会者 岩瀬雄一、富田英治

【鳩吹山ともの会 連絡先】

Phone: (西川)
e-mail: